

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ことばの森		公表日	令和8年 1 月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または、改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・法令が必要とされる配置数に加え、加算の職員も配置した体制になっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・設備は関係法令等に基づき整備しております。引き続き安全面に配慮した支援します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・毎朝、掃りの掃除を徹底しています。毎指導終了後は換気、消毒をし感染予防対策を徹底しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・個別支援のため、個別の部屋や場所を使用できる環境になっています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・定期的なミーティングを行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・今後も引き続きアンケートに基づいて職員間で業務改善に向けたミーティングを行っています。
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・今後も継続して定期的なミーティングと必要に応じた相談会議を設けています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	・第三者による外部評価は行っていません。状況に応じて今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・引き続き聴覚医学会への参加や各種研修を行っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・適切に支援プログラムを作成し、ホームページで公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・今後も丁寧なアセスメントと必要に応じた検査等を実施し、おこさまと親御様のニーズや課題を客観的に分析した上で計画を作成していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・おこさまの最善の利益を考慮した検討会議を児童発達支援管理責任者だけでなく、職員間で行い共通理解を図っていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・計画に沿った支援を引き続き職員間で共有し行っていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・おこさまの適応行動の状況を今後もフォーマルなアセスメント、インフォーマルなアセスメントを使用し確認していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・引き続きおこさまの特性や発達段階に応じた具体的な支援と計画を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・必要に応じて職員間で相談しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・今後もプログラムが固定化しないよう、職員間で相談し工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・おこさまの状況に応じて、個別支援を中心に支援内容を調整し提供しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・個別支援を中心とした体制のため、必要に応じて職員間で打ち合わせを行い、連携を図っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		また、共有ノートを活用し、日々の支援内容や気づきを職員間で確認できる体制を整えています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・引き続き日々の支援の記録の徹底と支援の検証をし、改善を行っていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		・定期的にモニタリングを行い、必要に応じて支援計画の見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・ガイドラインを踏まえ、おこさまの状況に応じて必要な支援を組み合わせ提供しています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・おこさまが自己選択ができるような支援、自己決定ができるよう、活動内容や関わり方を工夫しています。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・関係機関との会議には、おこさまの状況をよく理解している担当者が参画しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・法人の協力医療機関との連携や、必要な関係機関との連携を図っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・送迎のサービスは行っていません。学校との情報共有に関しては必要に応じて適切に行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・必要に応じて支援内容の情報共有と相互理解を引き続き図っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・今までに対象となるおこさまがいなかったためそういった支援の場面はありませんでしたが、今後必要な際には情報の提供ができるようにしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・必要な時に連携が図れるようになっています。 ・専門家の方にご助言いただける体制を整えています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・支援内容が異なる為、交流はおこなっていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・自立支援協議会への積極的な参加は現在しておりません。必要な際は参加できるよう検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・おこさまの状況や発達の状況や課題を保護者の方と共有し共通理解を図っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・情報提供を中心に行い、ご家庭でも取り組めるよう支援しています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に分かりやすく丁寧な説明を心掛けています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・児童発達支援計画の作成の際には、ご希望を伺う際にアンケートも合わせて実施、おこさまの最善の利益、おこさま、親御様の意思の尊重、考慮の観点を踏まえ確認する機会を設けていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・引き続き「児童発達支援計画」を提示しながら丁寧な説明を行い、計画の同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・主にフィードバックの際に行っておりますが、引き続き必要に応じて対応、助言できるようにしていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		・個別支援を中心としているため、事業所としての交流機会は設けておりませんが、必要時には個別にご相談を承ります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・おこさまや親御様からの苦情について、体制の整備を整えております。周知の仕方を工夫していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・引き続き、こどもの森通信やLINEを活用していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の研修を行うなど、引き続き取扱いに十分留意していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・今後もおこさまの特性を理解し、伝わりやすい意思疎通の仕方やコミュニケーションの支援ができるように工夫していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・行事は行っていません。必要な際には対応できるようにしていきたいと思えます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを整備し、職員間で共有しています。提示や周知方法を工夫しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・業務継続計画を策定し、非常災害発生に備え必要な備蓄品等定期的に確認しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約の際に伺い、利用期間の長いおこさまに対しては適宜おこさまの状況を確認しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食事の提供は行っていません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全管理が十分に保たれた環境で支援が行えるようにしています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・おこさまの安全確保に関して、ご家族と連携が図れるよう家族への周知の仕方を工夫していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットは発生時に速やかに共有し、必要に応じて事例検討を行い、再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止のための研修と適切な対応をしています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・マニュアル等を作成し、身体拘束の検討が必要な事例があった場合対応できるようにしています。 ・身体拘束はございません。

公表 者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ことばの森
------	-------

公表日 令和8年1月31日

利用児童数 50

回収数 20

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	2			・スペースが限られていると確保の関係で時間が前後されてしまうこと。良くもあるし、そうでないこともあることです。	・できる限りご案内した時間通りに開始できるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19			1	・言語聴覚士の先生が指導して下さるため安心感があります。事務の方の人員も十分かと思えます。 ・以前、指導していただいていた先生に比べて、成長が遅くなったと感じています。 ・職員体制や、担当職員が不在の場合の対応についてのご意見がありました。	・温かい言葉ありがとうございます。安心して通っていただける支援体制の維持に努めてまいります。 ・支援の進め方を職員間で共有し、支援の質の向上に努めてまいります。 ・担当職員は支援の継続性を大切にするため基本的には固定としております。不在時の対応については、安全面・支援内容を踏まえ、当日の体制の範囲内で事業所にて対応いたします。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1			・事業所の構造上致し方ないのですが、階段をしないといけないため、お子さんによっては不自由な場合もあるかもしれません。	・ご意見ありがとうございます。当事業所の設備につきましては関係法令・条例等に基づき整備しております。今後も安全に配慮しながら、必要に応じて職員の見守り等を行い支援してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			1	・教室の環境は、卓上での活動が主で、必要なもののみ用意されるため、分かりやすいと思います。	・ご意見ありがとうございます。引き続き、清潔で分かりやすい環境づくりに努めてまいります。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1			・先に述べた通りです。柔軟に対応していただけると有り難いです。 ・子どもの状況に合わせて、対応してくださっていると思います。 ・子どもの様子をよく観察し、その日の状況に合わせて適切な支援を行っていただいています。 ・子どもの事を理解し、子どもに合わせた支援を受けられていると感じるので満足している。ただ、子どもの特性ははっきりと原因理由があるものではない為、担当の先生がどういった分野の専門で何を理解し何を基に指導して下さっているのか見えずらい。	・引き続き、お子さまの状況に合わせた適切な支援に努めてまいります。 ・当事業所では、言語聴覚士がお子さまの言語面だけでなく、発達や認知・理解面、行動面等を含めて総合的に状況を把握し、必要に応じた支援を行っています。支援の目的やねらいについて、より分かりやすくお伝えできるように努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			4	・利用日のフィードバックはあるが、長期的に見た目標に対するフィードバックはないように思います。 ・自分の子供に関しては合っている。他のお子さんごどんな支援を受けているのか分からないので、その点分からない。	・ご意見ありがとうございます。公表している支援プログラムに基づき支援の目的や内容を整理した上で提供しています。また、支援記録やケース共有を通して状況確認を確認し、6ヶ月に一度モニタリングを行い、必要に応じて支援の見直しを行っています。今後も振り返りを通して、支援内容の改善・見直しに努めてまいります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1			・先と同じです。	・引き続きケース会議を行いながら、おこさまと親御様のニーズや課題に沿った支援、支援計画の作成を行ってまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1	1			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20				・集中力が続かない我が子ですが、子供の様子を見ながら、毎回取り組める課題を考えてくださっていると感じます。 ・目的は同じでも、子供の成長に合わせてやり方を少しずつ変えて子供の興味を引き出すように指導して下さっていると感じる。	・ご意見ありがとうございます。引き続きお子さまに合った支援に努めてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6		9	5	・個人的には他の保護者の方と交流があったら良いと思っっている。同じような悩みを持った方と話す機会があればお互い参考になったり、精神的な安定に繋がるのではないかとと思う。	・ご意見ありがとうございます。当事業所では個別支援を中心としているため、事業所としての交流の機会は現在設けておりません。いただいたご意見は、今後の運営の参考にさせていただきます。

保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	3	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	3				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	2	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1			・いつも大変親身になっていただき、子どもの状況に合った支援をいただいています。本当に感謝しています。	・漏かいお言葉ありがとうございます。今後お子さまの状況に合った支援ができるように努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	7	8		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	1	5	・適宜対応くださるので、本当に助かっています。	・迅速な対応が取れるよう、相談しやすい環境づくりに努めます。契約時に相談・苦情相談の窓口のご案内を行っております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	1	5	・丁寧にコミュニケーションを取っていただいています。情報共有も適切にいただいています。	・今後もおこさまや親御様と意思の疎通や情報伝達の配慮をしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16		1	3		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			1			
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1		3	・訓練の有無は分かりません。 ・緊急時の対応についてよく見える所に掲示されている。	・各種マニュアルは待合室にいつでも閲覧できるように設置しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2		10	・掲示はされているが、実際にしたというの聞いたことがありません。 ・これまで自分は訓練に当たった事がないのでわからないが行われていると掲示してある。	・指導回数や時間が限られているため訓練で支援の時間を使わないで欲しいとのご意見も頂いておりますため、職員を中心にっております。訓練を行った際は掲示しております。また、避難時のお約束等を掲示して日頃から意識できるよう工夫しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		9	・幸いにもまだそのようなことがありません。 ・該当する事象が発生していない為わからない。	・ヒヤリハットを活用し、日ごろから事故につながることはないか、どうすれば良いか等職員間で話し合っております。また事故等には迅速に対応、ご報告できるよう体制を整えてまいります。

満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	20			<ul style="list-style-type: none"> ・先生を信頼していて、とても安心して通っています。 ・担当の先生だけでなく、職員皆さんが優しく子供を受け入れて下さり通いやすい雰囲気がある。 	<p>励みになるお言葉を頂戴いたしまして、ありがとうございます。</p> <p>・これからも安心して通える場所になるよう、尽力してまいります。</p>
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	17	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の先生と会うのを楽しみにしています。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	2		1 <ul style="list-style-type: none"> ・突然欠席連絡にも、快く対応いただいています。子供だけでなく、私自身のこともお声掛けして下さり、親身になってくださると感じています。 ・担当の先生の専門性のあるご支援に大変満足しています。 ・大変満足しています。 	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの森		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 15日		～ 令和8年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・おこさま一人一人に合わせた丁寧な個別支援。	・アセスメントや必要な検査等を丁寧に行い、おこさまの発達に沿った適切な支援ができるように計画を立てている。	・職員間でのケース会議を更に充実させていく。
2	・言語聴覚士による言語に特化した視点での支援。	・言語聴覚士による言語面でのお困り事に対する支援。	・適応の高い期間に適切な支援ができるよう、専門性を活かした構音訓練等で積極的な支援をしていく。
3	・専門家による難聴児への支援。	・専門性を高めるための聴覚医学会への参加や研修。	・法人の医療機関と更なる連携を図り、専門性を高めるため今後も引き続き学会への参加や研修をにしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流について。	・個別支援のため、保護者同士の交流が必要な場面が今のところないため。	・法人の方針で父母会などはないが、引き続き交流が必要な場面では状況に応じて対応できるようにしていく。
2	・非常時に対する訓練の実施。	・個別支援のため、限られた時間の中で訓練より指導時間を優先して欲しいとのご要望もあり全員に対しての避難訓練等の実施が難しい。	・非常災害時の対応について分かりやすく掲示するなど、周知の仕方を工夫していく。
3	緊急時の連絡・対応の流れについて	実際の場面を想定した周知の機会が限られるため、十分な周知が難しい。	緊急時の連絡体制や対応手順について、掲示等で分かりやすく周知し、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。